

青森市国民健康保険事業特別会計の決算状況等について

1 国民健康保険事業特別会計決算状況等

款	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和元年度
	決算	決算	当初予算編成	当初予算	決算
	千円	千円	千円	千円	千円
1 国民健康保険税	5,381,515	5,123,269	4,977,505	5,211,221	5,008,906
2 使用料及び手数料	2,981	2,691	2,792	2,792	2,568
3 国庫支出金	7,957,231	388	47,036	47,036	2,539
4 療養給付費等交付金	563,957	0	0	0	0
5 前期高齢者交付金	8,870,745	0	0	0	0
6 県支出金	1,561,679	20,609,120	20,352,210	20,352,210	20,553,121
7 共同事業交付金	7,085,842	0	0	0	0
8 財産収入	1	15	239	239	38
9 繰入金	2,656,173	2,680,879	2,664,742	2,903,387	2,802,422
10 繰越金	51,737	601,010	1	1	366,118
11 諸収入	185,824	176,051	115,601	115,601	122,038
歳入合計	34,317,685	29,193,423	28,160,126	28,632,487	28,857,750
	千円	千円	千円	千円	千円
1 総務費	398,914	425,406	450,131	450,131	386,324
2 保険給付費	20,230,904	19,890,864	19,739,088	19,739,088	19,860,973
3 老人保健拠出金	78	0	0	0	0
4 後期高齢者支援金	3,673,241	0	0	0	0
5 前期高齢者納付金等	13,628	0	0	0	0
6 介護納付金	1,462,946	0	0	0	0
7 共同事業拠出金	7,303,076	4	12	12	5
8 国民健康保険事業費納付金	0	7,354,337	8,016,367	8,016,367	8,016,391
9 保健事業費	323,913	319,385	343,583	343,583	314,506
10 基金積立金	25,870	300,520	239	239	183,097
11 諸支出金	284,105	536,789	23,850	23,850	75,735
12 予備費	0	0	59,217	59,217	0
13 繰上充用金	0	0	0	0	0
歳出合計	33,716,675	28,827,305	28,632,487	28,632,487	28,837,031
歳入歳出差引額	601,010	366,118	△ 472,361	0	20,719

2 国民健康保険事業財政調整基金の推移

(単位：千円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
前年度末残高	0	0	0	25,870	326,390
積立額	144,338	0	25,870	300,520	183,096
取崩額	144,338	0	0	0	192,830
年度末残高	0	0	25,870	326,390	316,656

3 国民健康保険税の収納率（現年度分）推移

(単位：千円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
調定額	5,915,984	5,735,654	5,470,038	5,234,045	5,145,561
収納額	5,230,064	5,131,959	4,928,834	4,721,204	4,652,162
収納率（未還付額含）	88.41%	89.47%	90.11%	90.20%	90.41%
収納率（未還付額除）	88.30%	89.39%	90.03%	90.13%	90.32%

4 被保険者数の推移

(単位：人)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
3月～2月平均	73,385	69,740	65,848	63,260	60,680

5 令和元年度決算剰余金「20,719千円」の発生要因

○国民健康保険事業の令和2年4月末時点（国民健康保険税は4月末時点での実績で、5月末までの保険税の収入状況、一部残っている保健事業費の支出等は除く。）での決算見込は「192,830千円」の財源不足となったことから、財政課と協議のうえ、「青森市国民健康保険事業財政調整基金」から同額を取り崩して、歳入歳出の調整を図ったところである。

○上記から、5月1日から出納閉鎖日にかけて、5月収納分の保険税と一部残っている保健事業費等の差引額「20,719千円」が令和元年度の決算剰余金となったものである。

○なお、「青森市国民健康保険事業財政調整基金」の取崩は会計課と協議のうえ、5月29日に行ったものである。

6 青森市国民健康保険事業財政調整基金の一部取崩の経緯等

(1) 平成31年度当初予算編成時点の状況

○平成31年1月に県から示された納付金「8,016,367千円」に基づき、平成31年度国民健康保険事業当初予算を編成すると、「472,361千円」の財源不足額が発生したことから、以下で対応することとした。

①平成30年度末財政調整基金の取崩	238,406千円
②平成30年度末財政調整基金の運用利息	239千円
③平成30年度決算剰余金（見込）	172,710千円
④平成31年度国民健康保険税等	61,006千円
合計	472,361千円

○平成31年度当初予算は、上記①と②の合計額「238,645千円」を歳入の9款「繰入金」に、上記③と④の合計額「233,716千円」を歳出の1款「国民健康保険税」に計上することとした。

(2) 令和元年度予算における9月補正後の状況

○平成30年度の決算は、歳入歳出差引額で「366,118千円」の剰余金が発生したことから、決算見込時点での剰余金「172,710千円」より、「193,408千円」増額となったものである。

○上記から、令和元年度予算の財源不足額は、当初予算編成時点の財源不足額「472,361千円」から「193,408千円」を減額とした、「278,953千円」となったものである。

(3) 令和元年度決算の状況

○令和2年4月末時点での決算見込は「192,830千円」の財源不足となったことから、9月補正時点での財源不足額「278,953千円」より、「86,123千円」の改善が見られたところである。

○上記の「86,123千円」の改善については、
 ・歳入の6款「県支出金」のうち、県が定める交付要綱に基づき、保険者としての努力を行う自治体に対し交付する県特別交付金（県繰入金）が後発医薬品の普及促進や保険料の収納率の向上など、「医療費適正化等の取組」の交付額が増額となったため、「71,078千円」増加したこと、
 ・保険税の収納率が令和2年4月分と予算現額分と比較すると0.45ポイント増加したこと、が主な要因である。

7 今後の財政状況

○令和2年度以降の「青森市国民健康保険事業特別会計」については、法令等の制度改正による影響や保険税の収納状況等を見極めながら、財源不足になる可能性がある場合は、当面、基金取崩等に対応する。